

小学校と中学校が併設することで期待できるメリットとなる事象

※併設することが目的ではありませんが、小中学校が併設したことで期待できるメリットとなる事象を取り上げています。

より広い異学年交流	・中学生が小学生を手伝ったり、優しく声を掛けたりする姿が見られる。 ・中学生が小学生の手本となろうとする意識が高まる。 ・小学生は、運動や芸術活動など交流活動を通して、より中学生へのあこがれをもつことができる。 ・小学生も中学生も互いに思いやりや助け合いの気持ちを育むことが期待できる。
より多くの大人との関わり	・小学校と中学校が同じ敷地内に設置されるので、小学校と中学校を合わせた多くの教職員で児童生徒をより多くの大人の目で見取り、指導することができる。 ・小学校と中学校の教職員と日常的に関わりをもつことができる。
小中学校の合同行事の開催	・文化祭では小中互いの合唱・合奏を聴きあう活動を行ったり、環境学習では小中学校の児童生徒が協力して花を共に育てる活動を行ったりしている事例もある。
中学校進学の際のつまずきの緩和	・小学校のうちから中学校の様子を知ることができるので、中学校への進学に不安を覚える児童が減る。 ・中学校進学に伴う学習面や生活面のつまずき・負担＝いわゆる「中1ギャップ」の緩和につながる。
小中学校の教職員のよりスムーズな連携	・小学校と中学校の教職員とが日常的に情報交換ができる。 ・中学校進学の際の変化について円滑な接続を確保できる。 ・小中学校教職員間で互いのよさを取り入れ、協力意識が高まる。
小学校高学年の授業で中学校の教員が授業を担当	・小学校高学年の授業では中学校の教員が専門性を活かして授業を担当する事例もある。